

**長沼妙伎** 宗教家。結婚生活等に苦しんで、庭野日敬と立正佼成会を創始。信者から生き仏扱い、恩師とよばれた。

ながぬまみょうこう

**帝国憲法発布** 1889 = 埼玉県北埼玉郡志多見村(加須市)の大工を兼ねた農家の六女に生まれた。本名はマサ。

**日清戦争始**・1894 = 5歳：  
幼少で母を失い、近くの伯父に引き取られ、

**子規句歌革新**1898 = 9歳：

**日露戦争終**・1905 = 16歳：天理教信者の姉の養女となり、  
**満鉄発足**・1906 = 17歳：同教に入信したが、姉と衝突して、  
**韓国反日暴動**1907 = 18歳：東京に出、女中奉公・料理屋の仲居など職を転々とするうち、

病気で伯父のもとに戻り、  
**明治天皇没**・1912 = 23歳：

**第一次大戦始**1914 = 25歳：同郷の理髪職人と結婚、

民本主義・1916 = 27歳：  
1女をもうけるが、

**原敬首相暗殺**1921 = 32歳：

**治安維持法**・1925 = 36歳：女兒を連れて離婚した。東京で女中奉公を始めたが、  
女兒は夭折、

**世界恐慌**・1929 = 40歳：氷問屋の店員大沢国平と再婚し、氷屋兼焼芋屋を開く。

**満州事変**・1931 = 42歳：  
営業は順調であったが、子が早世し、自身も病気つきで苦しみ、

帝人疑獄事件1934 = 45歳：

**二二六事件**・1936 = 47歳：\_出入りの牛乳商庭野鹿蔵(日敬)の導きで、豊友会に入信。

**日中戦争始**・1937 = 48歳：

**健保+総動員** 1938 = 49歳：\_**豊友会**会長小谷喜美の指導に反発して日敬とともに**豊友会**を脱会。国柱会会員村山日襄を会長にして、大日本立正佼成会を創設、マサは妙伎と改名。

**日米開戦**・1941 = 52歳：

**創価学会検挙**1943 = 54歳：\_**法華經**に基づき日蓮の教えを奉じ、身上相談などを行いながら、会の発展を図るうち、  
\_**治安維持法違反**の疑いで警察に留置され、これを機に日襄が去り、日敬が会長、妙伎が副会長となった。

**敗戦**・1945 = 56歳：敗戦後、

\_会の発展途上において妙伎が「神示」(神のお告げ)を分担、日敬が妙伎の口をかりて下る神のお告げを会員の先頭に立って実践した。東日本でめざましく発展し、信者から生き仏扱いされて、恩師とよばれ、

**独立回復**・1951 = 62歳：

**メーデー事件**・1952 = 63歳：

なべ底不況・1957 = 68歳：\_**病没**した。  
3年後、妙伎を記念して会名を立正佼成会と改めた。

「日本の女性」、